







して、昭和六十二年度より実施しています。 とにより、同世代の青少年の意識啓発と、青少年の健全育成に対する大人の理解と関心を高めることをねらいと .川越市少年の主張作文」は、青少年が日常生活の中で考えていること、感じていることを広く社会に訴えるこ

は、 七 報が多様化した時代を生きる青少年が、社会や自分を見つめる良い機会になったことと思います。 と、思ったことを素直な言葉で表現し、自ら体験したことや調べたことへ結びつけた説得力のある作品であり、情 編、総計九百六編と例年を大きく上回る多くの応募がありました。応募作品は 市内在住・在学の青少年を対象に募集を行い、今年度は中学生の部から七百九十九編、高校生及び一般の部百 『平和』『多様性』『AI』といった世界情勢を鑑みた内容の作品が多くありました。皆、自分が考えたこ 『学校生活』 『環境問題』などについて、様々な視点から捉えられた内容で、力作揃いでした。また、今年度 『将来の夢や希望』 『人間

くださった方々の心にはどのように響きますでしょうか 決定しました。この作品集は、入選作品十五編をまとめたものです。青少年が心に抱く十五編の主張は、お読み 作品は審査会による厳正な審査により、入選作品十五編が選ばれ、その中から、最優秀賞一編、 `優秀賞三編が

川越市青少年を育てる市民会議

応募者名簿 評	入選	秀	高校生の部	入選	入選	入選	入選	入選			入選	入選	入選	優秀賞	優秀賞	最優秀賞
	いつかの正解へ	言語の学びを通して		底辺の仕事なんてない	の主張	いつまでも変わらない「好き」	水と海、人と世界	目に見えないもの	ジェンダー問題に向き合おう	の努	僕を成長させてくれた剣道	文豪と人生会議	最後の教え	清掃と向き合う	家族に「ありがとう」	私達の知らない傷跡
	秀明	秀明		川越	川越	霞ケ	砂中	高階	高階	城南	城南	野田	野田	川越	東中	霞ケ

富田井 池河野崎原原島村蘭 東京寺 原寺 医千理更優早 大彩 斗紗美人織央紗芽良 南有	2年 奥宫	越西中学	越西中学	越西中学校	霞ケ関東中学校3	砂中学校 2:	高階西中学校 3年	高階西中学校 1年	城南中学校 3年	城南中学校 2年	野田中学校 3年	野田中学校 3年	川越西中学校 3年	東中学校 3年	霞ケ関東中学校 2年
富田井 池河野﨑原原島村藤	趙 奥	年	年年		年 酒	年宋	年菊	十大	小小	磯	神	笠	矢	味	T 佐

18 17

私達の知らない傷跡

霞ケ関東中学校 2年 佐藤 早良子

二度と繰り返してはならない歴史だと断言します。 皆さんは、戦争についてどう考えますか?私はそう問われたら真っ先に、

「死なないで。どうか最後まで生き延びて。」

解できた気がしました。 解できた気がしました。 と思い、戦争という歴史の本質を少し理れたシナリオに抗って「生きたい」と思い、戦争という歴史の本質を少し理らとしていましたが、この言葉を聞いて気付かされ、その時初めて、決めら死ぬことが普通であると錯覚したまま、当時の切羽詰まった心情を理解しよます。ですが、それはあくまで舞台の常識です。私は知らず知らずの間に、の中で何度でも死に、最終的に誰一人欠けることなく再度死んで終幕となり公演初日に、演出家の方から頂いた最後のダメ出しでした。演出上、皆物語公演初日に、演出家の方から頂いた最後のダメ出しでした。演出上、皆物語

しかし、私達演者がパフォーマンスとして続けていくことで、当時の人々がを注いだとしても、きっとけれん味のない演技には届かないのだと思います。争の残酷さがどれほどのものなのか知らない無知な私達が、どれだけの熱量理解することはできますか?私達が平凡な時代を進んでいく限りは、殺し、当さんは、「生きたい」と切に願ったことはありますか?又、その感情を皆さんは、「生きたい」と切に願ったことはありますか?又、その感情を

も再来年も私は、一時の虚構を全世代へ届けていきたいです。誰かがそのメッセージに気づいて、心の釘となってくれることを信じ、来年流した血の意味を知ることができるのではないか、いつの日か、観客の中の

から、私はより多くの人に戦争を知って頂いて、私自身も絶対に忘れたくな ない。でも現実と幻の区別がつかなくなるような歴史を繰り返したくはない うか。傷つくことも傷つけることも生きることです。でも確かなのは、争い 判し、世界の平和を望みます。しかし、もう忘れてしまいたいと考える方も す。その間違いを何度も繰り返してほしくない。だからこそ、私は戦争を批 ことは奇跡であり、それを踏みにじって争い続けることは間違いだと思いま の上に成り立ち、たとえ悲しい歴史でも、その思いに触れたからこそ私達は 史を通して感じて欲しいと思っています。私達は昔の人々が紡いできた歴史 と平和がどれだけ尊く、争うことがどれだけ愚かなことなのかを、戦争の歴 がましいのですが、私は今の、平和で満たされた時代を生きる人々に、もっ 和を祈念する事業に参加して初めて心から言えた事です。私が言うのもおこ を望む人はそういないということです。時に忘れてしまいたくなるかもしれ できます。そして新たな希望を紡いでくれます。だけどそれで良いのでしょ 今も生きています。そして、どんな場所であってもこの広い世界で出会えた い、忘れて欲しくないと思います。 いらっしゃるかもしれません。確かに、時はどんな傷さえ忘れていくことが 「世界中で二度と戦争が繰り返されて欲しくない」それは、今年の夏、

で伝え、変えることのできる未来を変えていきたいと強く思っています。生まれる可能性を信じて、私は、今後も変えられない歴史を舞台という手段私一人に世界を変える力はありません。でも、世界を平和に導く第一歩が

家族に「ありがとう」

「テーンキュー

り日常になっていた。 というのは「ありがとう」だ。もう、「ありがとう」と言えないことがすっか ああ、やっぱ言えない。私は言えない自分に毎回がっかりする。言えない、

なんとなく気恥ずかしい気がしてしまう。 小さい頃は何も気にせず「ありがとう」の五文字が言えていたのに。今では 私は、中学生になってから家族に「ありがとう」と言えなくなっている。

うのも頭では分かっている。でも、言えない。 が言えないなんて情けないし、むしろ言わないほうが恥ずかしいことだとい のか不思議だと思う。もっともだ。私もしっかり言えていたときはそう思っ ていた。今でも、きちんと言わないとなという気持ちはある。「ありがとう」 言える人にとっては、なんで言えないのか恥ずかしがる要素がどこにある

なかった。はっきりしているのは、気恥ずかしい気がして言いたくないとい 良い家族なのではないかと思っている。これは間違いないと思う。なぜなら 考えてみた。私は父、母、二つ上の兄の四人家族だ。私の家族は、相当仲の 仲が良い家族なのになんで言えないのか。考えた結果、自分でもよく分から 友達に家族のことを話すと「超仲良い家族じゃん」と言われるからだ。では、 ちなみに、家族以外なら何も気にせず言える。なぜ家族には言えないのか

きたときの反応は そんなとき、私は友達に仕事を頼まれた。仕事が終わって友達から返って

「どーも、どーも!ねえねえ、あのさー」

だった。そのとき、私は少しがっかりした。すぐ終わる簡単な仕事だったけ

東中学校 3 年 **味** み おら 優芽

以上がっかりしたくない。 が、がっかりさせたくない。そして、「ありがとう」が言えない自分にこれ 族はがっかりしている。そう思うと胸がチクり、と傷んだ。大切な家族を私 言わなければ感謝していないのと同じ。当たり前だ。私の「ありがとう」と のかな。ようやく気づいた。心の中で感謝していても、相手に伝わるように いう気持ちはきっと家族には伝わっていない。私が気づかなかっただけで家 ど感謝してくれると思っていたから。あ、もしかして家族もそう思っていた

て恥ずかしいが、私にとっての大きなことだ。 の気持ちがしっかり家族にも伝えられたような気がして嬉しかった。義務教 のモヤモヤとしていた気持ちをすっと晴らしてくれた。やっぱり少し恥ずか 育最後の夏休みの成果は家族に「ありがとう」が言えたことだ。中三にもなっ しいようなくすぐったいような気持ちはあった。でも、それ以上に私の感謝 思い切って言ってみた。「ありがとう」のその一言。その響きは、

兄に言いたい。 りがとう、と母に言いたい。数学を分かるまで教えてくれてありがとう、と き合ってくれてありがとう、と父に言いたい。私の話をよく聞いてくれてあ る存在。それが家族だと思う。だからこそこれからは、いつも私の遊びに付 人生で最も多く同じ時を共有する存在。真っ先に手をとり合い、助け合え

「水筒、忘れているよ。」 私にとって一番大切な三人に、私が一番「ありがとう」と伝えていきたい。

「ありがとう。」

しい日常だ。 ありがとう、と言える。私も家族も笑顔になる。これがこれからの私の新

清掃と向き合う

|キーンコーンカーンコーン|

あった。清掃が嫌で委員会の仕事があると言い訳をして清掃に遅れることも には十五分間の清掃の時間が始まるからだ。教室の床には消しゴムのカスや しばしばあった。 チョークの粉などの汚れがたくさんあり、雑巾が真っ黒になることに抵抗が 小学生の私は、給食終了のチャイムが一番嫌いだった。なぜなら給食の後

の言葉だった。 な私の考えが一変したのは入学してすぐに行われた清掃集会のある三年生 めた。つまらない清掃を黙ってやらなければならないなんて、退屈だ。そん 中学校に入学し、黙々清掃が伝統で行われていると聞き、思わず顔をしか

この言葉を聞いて私は衝撃を受けた。勉強をしたり友達と話したりできる学 い』ということ。ただ集中して清掃するだけでなく、学校に清掃をさせてい ただく感謝をもって清掃をする。それが私たちの学校の伝統です。 「黙々清掃は、『話さない』のではなく、清掃だけに集中するから『話せな

変わった。清掃の時間を長いと感じていたのは

校を私たちが使っていることは当たり前ではない。だからこそ、学校を使わ

せていただく感謝を、清掃することで伝える。今までの清掃の概念が大きく

「次の休み時間何をしようか。」

など清掃とは関係のないことばかり考えていたからだということにようや

川越西中学校 3 年

える交流会を行った。この活動は非常に好評で、活動後にアンケートを行う を学年で実施することに決めた。私の学校では自分の清掃場所をより理解し、 清掃した場所がよみがえるようにきれいになったと感じた。私は、この素晴 るために、学級間で教室や廊下など同じ種類の清掃場所でメンバーを入れ替 その場所のプロフェッショナルになるために一年間で担当する清掃場所を らしい清掃を受け継ぎたいと思い、所属する学級委員会の活動で清掃交流会 掃から、汚れと向き合い、汚れを見つけたら磨いて汚れを落とす。一生懸命 一度も変えない。その中で普段見ることができない他の清掃場所の工夫を知 そこから私の清掃は大きく変わった。それまでの床や壁をなでるような清

する意識が変わった。 掃を始め、終了のチャイムが鳴る時間ぎりぎりまで清掃をするなど清掃に対 以上清掃することを目標に、多くの清掃場所で開始のチャイムが鳴る前に清 など多くの人に気付きがあり、清掃の質を上げることができた。更に十五分 「清掃する意識が変わるとこんなにもきれいになると知って驚いた。」 「自分たちの工夫が共有されて、学年共通の工夫になってうれしかった。」

くてもきっと行動で伝えることはできる。だからこそ私は、誰よりも長く、 真剣に、そして丁寧に清掃と向き合っていこうと思う。 なぜなら私自身も小学生の時同じように感じていたからだ。口では伝わらな そんな中でも清掃が面倒だと考える人は一定数いる。しかし私は諦めない。

最後の教え

「私、頑張るね。」

に眠る大好きな祖父の顔があった。 自分の力を振りしぼって伝えた、最後の言葉。目の前には気持ち良さそう

三ヶ月間。私はそんな祖父の生き様から、一つのことを学んだ。 祖父は元から体が弱かった。それでも、その痛みや苦しみに耐えて生きた 私の祖父は今年の七月に誤嚥性肺炎のため別の世界へと旅立った。

ことで、肺炎を引き起こしてしまうケースがある。 機能が働くが、この機能が鈍くなり気管に入り込んだ食べ物を出せなくなる しまうことが原因で起こる病気である。通常はむせて気管から排出する反射 祖父が発症した誤嚥性肺炎は食べ物や唾液が食道ではなく、気管に入って

ゆっくりではあるが食べることもできていた。しかし、時間が経過するにつ 越して入院生活をしていた。最初の頃は話すことや体を動かすこと、そして、 れて病気は悪化していき、最終的には寝たきりの状態になるまで病気は進行 先ほど伝えたように、祖父は体が弱かったため、病気の進行度が早いと見

ているように見えた。限界に近い中でも、私がかけた言葉に対して、 それ以上に驚きのほうが強かった。まるで痛みや苦しみの大きさを体が語っ 「ありがとう。 私が最後に祖父に会ったのは亡くなる一週間前だった。嬉しさもあったが、

た。最後に見たあの笑顔は一生忘れないものとなるだろう。 と、手を握りながら小さな声で返してくれた。その時、かすかに笑顔が見え

も。

野田中学校 3 年 笠原 かさはら 理り 央ぉ

闘っていた。このことから何事も簡単に諦めず、出来ないことでもチャレン ジし続ける心が大切であることを学んだ。 ドや会った時の様子から、「生」と「死」の境で過ごしている中で、祖父は ているかもしれないが、その中でも必死に自分と向き合って見えない敵と 「もう無理」などのマイナスな発言はしていない。生きられる時間は限られ それから二ヶ月が経った今、私はあることに気づいた。入院中のエピソー

か与えられないものだ。 のではない。様々なものと闘い、深い傷を負ってまでも生き残った勇者にし としても、その中に秘めている小さな可能性を掴むことができれば、見えな 前に進めない場合、ほとんどの人は「無理」という言葉が頭に浮かぶだろう。 とんどは目で見えない未知の壁であるだろう。どんな手段を使っても壊せず い壁でも越えられるはずだ。しかし、その小さな可能性は誰もが得られるも でも、本当にそう信じてしまってよいのだろうか。どんなにできないことだ 人生を過ごしていれば大きな壁に出会うことは多いと思うが、その中のほ

やってみることを続けていきたい。 勇気が必要だ。そのためにも、物事を「無理」ではなく「難しい」と捉えて 勇者になるためには、どんなことにも耐えられる強い心と前を向いて進む

世界中の人のために。そして、大好きな祖父と交わした最後の約束のために い。止まってしまったとしても自分の可能性を信じて一歩を踏み出したい。 これから先、どんなことが待ち受けていようと前に進む足を絶対に止めな

文豪と人生会議

譲 野田中学校

3年 榊原 千織

さかきばら

事に就いてのみ、何時も後悔を感じていた――。」「昔、私は、自分のした事に就いて後悔したことはなかった。しなかった

で書き記された名言である。 この言葉は、文豪の中島敦が発表した「光と風と夢」という中編小説の中

持ちになってしまうのであれば、やらなければ善かったと思ってばかりいた。私はずっと結果にばかりにこだわり、挑戦して失敗したことでこんな嫌な気何故私はこんな簡単な答えに辿り着けなかったのだろう。今思い返せば、

私と中島敦との違いは、その捉え方だ

ということに。
思い出した。私が何度もしている挑戦は、毎回同じ結果では終わっていないどうであれ、後悔はしていないということだ。このことに気付いた時、私は果ではないのだ。自分が行動に移せたかどうかに重点を置いている。結果が

たが所々に不備があり失敗。三度目は不備もなかったが相手との少しの表現敗する内容は変わっていた。初めは何も準備をせず失敗。二度目は準備をし残った評価、価値の良悪で決めていた。しかし、何度「失敗」を重ねても失私が思う「失敗」とは、自分が挑戦している中での事は除き、結果として

恐れない。

恐れない。

恐れない。

恐れない。

なが何度も挑戦し、「失敗」して心が折れそうな時に中島敦という文豪に
いが何度も挑戦し、「失敗」して心が折れそうな時に中島敦という文豪に

言われてきていた「あたり前の考え」に、

たり前の考え」だ。しかし私は忘れかけていた。この毎日のように他人から

まう。言ってしまえばこの言葉に似た話はどこにいても耳にする。所謂「あ

後悔しないために――。」 「私は、これからもたくさんのことに挑戦するのだ。しなかった事に就いて、

僕を成長させてくれた剣道

僕は、六歳の頃から剣道をやっています。

的ですが、剣道は人として成長することが一番の目的です。だから、剣道の 試合は目的ではなく、目的を達成するための手段なのです。 剣道は他のスポーツとは違っていて、スポーツは普通勝つことが一番の目

防具は座ってつける、竹刀の先をゆかにつけない、竹刀をまたがない、道場 試合の前と後に礼、 にします。例えば、稽古をする前と後に礼、道場に入るときと出るときに礼、 をしないなどたくさんのルールやマナーのようなものがあります。 では正座、面や竹刀を置くときは音をたてない、試合のときはガッツポーズ また、剣道は人として成長することが目的なので、礼儀や物をとても大切 面を取るときは先生から、人がいるときは後ろを通る、

業するときの言葉としても言っていました。 けれど、剣道のおかげで礼儀などを学べたと思うので、剣道や剣道を教えて くれた先生にとても感謝しています。このことは、中学生になり剣友会を卒 剣道は、剣道着を着て防具をつけるので、夏は暑く、冬は寒いし、疲れる

なぜなら、部活の雰囲気があまり好きではなかったからです。具体的には、 もいいと思いましたが、特にやりたい部活はなく、いっしょに剣道をやって いた友達も入るし、見学していてやりたくなったので剣道部に入部しました。 僕は中学生になり、部活動を決めることになりました。剣道以外の部活で しかし、部活を続けているうちに少しがっかりした気持ちになりました。

城南中学校 2 年 磯﨑 匠 人

の厳しさ、剣道への誇りが失われていくように感じて悲しい気持ちになって 成長したいと思っていましたが、楽をしたい気持ちに負けてしまい、部活の かし、剣道の仲間としての尊敬はほとんどありませんでした いました。部活の仲間は明るくていっしょにいてとても楽しかったです。 みんなに合わせてしまっていました。段々と今まで学んできた礼儀や自分へ いと感じました。稽古も楽な気がしました。僕は厳しい稽古をして、もっと 小学生の頃にいた剣友会よりもだらだらしていて、礼儀があまりできていな

げで前よりは楽しめるようになりました。僕は中学生になってから急に剣道 しれません。 が強くなりました。これは楽しむことが強くなることにつながったからかも り、楽しむことを忘れてしまっていたのかもしれません。でも、仲間のおか かったと気づきました。小学生の頃、礼儀を大切にしたり、厳しくするあま 合っている姿は楽しそうでした。また、楽しむことが自分にはできていな れは、剣道を楽しんでいるところです。部活をやっているとき、仲間と高め でも、しばらく稽古をやっていて仲間の良いところに気がつきました。そ

部活のみんなで小さな目標から決めたりして、部活をより良くできるように て成長できるようにこれからも頑張りたいです。 頑張っています。そして楽しむことを忘れずに、さらに強くなって、人とし しかし、礼儀や自分に厳しくすることはとても大切なことです。だから、

分かり合うための努力

見で人や物事を決めつけるのではなく、相手のことをもっと理解しようと努 近いため、勉強が得意と分類されるかもしれません。このように、独断と偏 は正しいのでしょうか。Aさんは数学だけが苦手で他の教科を見ると満点に 手なんだ。このような勝手な解釈をするでしょう。しかし、本当にこの解釈 だという情報を得ると多くの人は、きっと他の教科の点数も悪く、勉強が苦 しまうことが多くあると感じます。例えば、Aさんの数学のテストは二十点 力することが大切だと思います。 私たちは自分の得た少ない情報だけで他人の人間性や好悪を決めつけて

応だと止められてしまいます。そもそも、その頃の和歌とは貴族など身分が なら詠めると帝の元へ行こうとします。しかし、木こりの仲間には身分不相 ちなみに、『宇治拾遺物語』とは、鎌倉時代前期の約八百年程前に書かれた 思います。その例の一つとして『宇治拾遺物語』のある一話が挙げられます。 めたのでしょう。そこで木こりは、 高く、教養のある人しか詠めないとされていたので木こりの仲間も子供を止 良い和歌を詠むことができませんでした。それを聞いた子供の木こりは自分 りき」というワードを隠題にした和歌を詠ませようとします。しかし、誰も れた教訓話が子供の木こりの話です。隠題を使った和歌を好む帝が、「ひち 説話物語集で笑い話や教訓話などが集められています。その中で考えさせら しかし、この問題は今生きている私たちだけが抱えているものではないと

「歌を詠むことと身分や外見は関係ない。」

訓を得ることのできる話がたくさんあります。今は和歌を詠めるか否かで人 その他にも『ものくさ太郎』や『沙石集』にも和歌の性質から身分などの教 と言い、「ひちりき」という言葉を用いた良い和歌を詠みます。この話から、 を区別することはなくなりましたが、最初にも述べたとおり今でも無意識に 身分や外見で人を決めつけてはいけないという教訓を得ることができます。

城南中学校 3 年 小野寺

があります。その中で 塾、クラブチームなど様々な機会で「先生」という立場の大人と接すること 少ない情報で一方的な断定をしていると感じることがたくさんあります。 その適例が私たち生徒から見る先生だと思います。私たち中学生は学校や

「B先生の話し方は苦手。」

「C先生はたくさん指名するから嫌い。」

このようなことを言った経験はありませんか。けれど、これらの一つの要素 さんの気遣いを知ることができました。このような先生方の思いやりを知っ きるようにしたり、勉強以外の相談も聞いて励ましてくれたり、本当にたく プリントではフォントの工夫をしていたり、重要な単語に関する予備知識を てしまうと嫌い、苦手と言うことができなくなりませんか。 伝えることで楽しく覚えられるようにしたり、指名することで知識を定着で 生徒に授業内容の理解をしてもらえるよう見やすい板書の方法を考えたり たり、様々な先生を観察したり、話を聞いたりしました。どの先生も私たち だけで嫌い、苦手と決めつけて良いのでしょうか。私はこの作文を書くにあ

はなり得ず、人々がそれを繰り返してきたことで昔の教訓が今の私たちにも ようになりたいと思います。 なく、出会う人についてたくさん知る努力をして、良い関係を築いていける 事を見ることが大切だと思います。私はこれからの将来で多くの人に出会い 情報から他人の人間性や好悪を決めつけるのではなく、多様な視点で人や物 当てはまるんだと思います。このような過ちを繰り返さないためにも少ない ります。しかし、その推測が間違いであった場合、誤解を生み、良い結果に 人間関係を築いていくはずです。独断だけで人間関係を取捨選択するのでは 確かに、少ない情報から推測して見出した情報が正しいと言える場合もあ

ジェンダー問題に向き合おう

高階西中学校 1年 大河原 紗南

題だと思いました。 さっぱり分かりませんでした。しかし、最近よくテレビのニュースで「ジェ とを意味しています。はっきり言ってこの言葉を聞いた時は、何のことだか 任や権利、機会を分かち合い、あらゆる物事を一緒に決めることが出来るこ ンダー平等」や「男女不平等」などの言葉を耳にすることが多く、深刻な問 みなさんは、「ジェンダー平等」という言葉を聞いたことはありますか。 「ジェンダー平等」とは、一人ひとりの人間が性別に関わらず、平等に責

にはブルーの物がたくさん届いたと、お母さんが話していました。お母さん 取った人の中には違和感を抱く人もいたのかもしれません。 は可愛いお祝いが届いて喜んでいたそうですが、このようなお祝いを受け ます。実際に私や兄が産まれた時には、出産祝いで、私にはピンクの物、兄 の子はブルー、女の子はピンクが好き」など、考えればいくらでも挙げられ 家事をするべき」や、「男の子はヒーロー、女の子はプリンセスが好き」、「男 ジェンダーの具体例として、「男性は働いて稼いで、女性は子供を産み、

員さんに、 また、私が小学校に入学する時、ランドセルを購入しにお店に行くと、店

ます。ただ、今思えば、そういう何気ない言葉が、相手に嫌な思いをさせた り、傷つけたりしてしまうのだと思いました。 したのを今でも覚えています。店員さんには悪気は全くなかったのは分かり と、案内されました。私は水色が欲しかったので、その時、少し嫌な思いを 「女の子はやっぱりこちらの赤かピンクのランドセルですかね。」

年の時、低学年の体力テストのお手伝いをしていました。私はショートカッ そして、逆に私が相手を傷つけてしまった出来事もあります。小学校高学

> トの女の子を男の子だと勘違いして、男の子側に誘導しているとその子は、 「男の子じゃないもん。」

ていた自分がとてもはずかしくなりました。 と、言って泣いてしまいました。その時、私は、人を見た目で判断してしまっ

わなければいけないとも思いました。 と改めて感じました。そして、ジェンダー問題に私達は、 これらの出来事もあり、日常生活において、ジェンダー問題は身近にある しっかりと向き合

要です。 を着用してもよいというように、今までの概念を一度リセットすることが必 しないことです。最近の制服のように、男子はスカート、女子はスラックス まずは、「男の子だから」「女の子だから」とおしつけたり、決めつけたり

が共働きです。お母さんが仕事でお父さんが休みの日は、お父さんはお米を 当たり前のように、自然にできていることがすごいと思い、とても尊敬しま といだり、お母さんが事前に用意しておいた材料で夕飯も作ったりします。 また、食後の皿洗いもしています。そんなお父さんをいつも近くで見ていて、 子育て、家事は男性と女性で協力してやることが大切です。私の家は両親

継続するのはとても難しいです。 思いやる気持ちを持ち続けることです。これはとてもシンプルなことですが、 大事なのは、一人ひとりにとって心地良い環境で過ごせるように、相手を

分なりに、小さなことからでも取り組んでいきたいです。 SDGsにも掲げられている「ジェンダー平等を実現しよう」を、私は自

目に見えないもの

は骨が完成する一六歳から一八歳までの大体が経過観察が中心だからとも め両親も周りもどうしてあげたら良いのかがわからない。それは、この病気 だ。この病気は珍しい病気なので、診てくれる医者もあまりいない。そのた 弟は外から見ると元気だけど、実はやりたいことをたくさん我慢しているの いえる。 とても稀な症例だ。病気と言っても普通に生活しているし、体育だってやる。 僕の弟は、小さい頃から足に病気がある。骨繊維性異形成症という病気で、

ら骨は修復して治っていくものだが、弟の病気は骨の修復ができにくいらし る。何かしてあげたいけど、どう声をかけたらいいか、何をしてあげたらい て痛くて仕方がなく、汗をかいて、涙をこらえて痛がる様子を見ることがあ てする。病気を忘れてしまうくらい元気なのである。でも一年に何回か痛く いのかがわからない。 い。でも弟は、折れている状態でも走るし、スキップもするし、ジャンプだっ 現在、弟の足の腓骨という骨が六年くらいずっと折れている。普通だった

らない病気がたくさんあるということを知ったからである。僕はサッカーを 乗るとき、後ろにいた人から、チッと舌打ちをされたのがとても怖かったそ 持っているか聞いてみると、二年前程からだそうだ。駅のエスカレーターに やっていて、電車で移動することが多い。そこでよく目にするのがヘルプ 周囲の方に配慮が必要なことを知らせるためのものだそうだ。弟にいつから ヘルプマークは、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方が マークだった。このヘルプマークは、弟が持っているので存在は知っていた。 今回、 弟のことについて書こうと思った理由は、外から見ただけではわか

西中学校 3 年 菊池

高階

だが、この一件で必要だと考え、市役所でヘルプマークをもらってきたとい ときまで、ヘルプマークの重要性についてあまり考えていなかったらしいの 痛がっていたので弟を優先席へ座らせていたときに、なぜそこに座っている うだ。母にも聞いてみると、その日弟は足が痛そうで一緒に歩いていたのだ のかという目を向けられたこともあり、とても辛かったと言っていた。その かったときに、舌打ちをされてしまったということだった。その後も、足を が、エスカレーターに乗るときに足を引きずっていてスムーズに乗り込めな

困っていたりする場合に、このヘルプマークはかなり有効だといえる。 弟のように、外から見るととても元気だが、実は誰かの助けが必要だったり をする必要が出てくるかもしれないと思ったが、ヘルプマークをつけること で、「支援が必要だ」ということを簡単に周囲に伝えることができる。特に この話を聞いて、周囲の人の理解を得るためには自分のプライベートな話

ばいいと考える。 をもっていなかった弟のように、何かしらの理由があって行動できない人も ときは助けてあげられる人でいたいと思った。ヘルプマークを知らずにそれ 声をかけたり、優先席をゆずったりと助けることができる。僕は助けられる いけない。皆が皆、 人でありたいと思った。元気だからといって、自分の価値観を押しつけては いる。そんな人たちにも怒らず、優しい気持ちをもって接することができる いうのは外から知ることはできない。しかし、ヘルプマークを見つけたら、 ヘルプマークをつけていなければ、この人はこんなことで困っている、と 他者への思いやりをもって、お互いに優しい世界になれ

うことだった。

入選

水と海、人と世界

人と世界

達を連れて来ました。当時の私は、日本語力がゼロでした。は周りと少し違って、本やネットで日本のよい文化を知り、日本に憧れて私を愛する気持ちは強く、日本は基本的に悪いイメージでした。しかし私の父人からも昔の戦争のことを教えてもらいました。だから私達はほとんど、国小学校の時から私達に日中戦争などのことを学ばせていて、さらに先生や大小学校の時から私達に日中戦争などのことを学ばせていて、さらに先生や大小学校の時から私達に日中戦争などのことを学ばせていて、さらに先生や大小学校の時から私達に日中戦争などのことを学ばせていたところは、私は約二年前、中国から日本に移住しました。私が住んでいたところは、

もちろん考え方も変わり、日本はとても大好きです。た。苦労もしていましたが、今は日本人とほぼ同じ生活をしているのです。約二年経った今、私は国語のテストで八十点以上を取れるようになりまし

して彼女は明るく返事してきました。私達はすぐに友達になりました。国人なんてとても珍しいなと思って、コメント欄で話しかけてみました。そ彼女は日本のアニメの登場人物を描いて投稿していました。日本が好きな中SNSアプリの投稿を見ていると、日本が大好きな中国人を見つけました。そんな楽しい生活を送っている中でのある日のことです。スマホで中国の

説明欄にはこのようなことが書かれていました。 少し時間が経ったとある日。私はいつものように彼女の投稿を見ていると、

みんなが私から離れているみたいです。どうしましょう……。私は日本が好きは『いいアニメならうちら中国にもいっぱいあるじゃん』とか、いろいろ悪口を私に言いました。さらに、私がらこんなの見ないわ』とか、いろいろ悪口を私に言いました。さらに、私がらこんなの見ないわ』とか、いろいろ悪口を私に言いました。さらに、私がらこんなの見ないわ』とか、いろいろ悪口を私に言いました。とか『私だっための・日本のあるアニメにハマって、その主人公の絵を描きました。上手く描近、日本のあるアニメにハマって、その主人公の絵を描きました。上手く描近、日本のなが私から離れていました。私は正直、この話をしてもいいか迷っていました。最

砂中学校 2年 宋 美兴

たので私が日本語に訳しています。) これからはどうやってみんなに関わればいいでしょうか……。」(中国語だっきですし、中国は私が生まれ育った国なので嫌いと言える訳がありません。

いってまなにいいう)皮疹によって、皮でですではらしてける。などのではいるの無理です。コメント欄で慰めるしかありませんでした。彼女はかわいそうですが、私達は離れているので、彼女のために喧嘩するの間が経つと元に戻るよ、大丈夫!」としか言えませんでした。いじめられた自分も暗い気持ちになってしまうでしょう。今回の私は、彼女に「きっと時自分も暗い気持ちになってしまうでしょう。今回の私は、彼女に「きっと時

といって相手の国を疑ったり、嫌ったりするのも妥当ではないのです。といって相手の国を疑ったり、嫌ったりするのも妥当ではないのです。世の中には、絶対的に正しいことはないと思います。私達が住んでいる地球だって、丸いのは確かですが、丸に近いでこぼことした星力はありません。教科書や先生、友達に中国がどうか日本がどうかなんて言力はありません。教科書や先生、友達に中国がどうか日本がどうかなんて言力はありません。教科書や先生を信じすぎて、客観的に考えることができあれても、少し疑って本当のことを調べたりしなければ、その間違えているかもしれないことを信じてしまいます。シープログランを表しているがでありません。中でのような無茶ないじめの被害者はきっと、彼女だけではありません。中にいって相手の国を疑ったり、嫌ったりするのも妥当ではないのです。

和になれるはずです! やと思い、誰に対しても差別なく優しく関わり合えば、この世界はきっと平はできません。このように、世界の人々が違う国にいるとしても、同じ人間一人ひとりの力が必要です。それぞれ違う川から流れてきた水がなければ海れらの問題を解決するには、国の政府だけではなく、国や世界を作っているのはこの世界で、戦争や地球温暖化など、多くの問題が起きています。そ

選

いつまでも変わらない「好き」

霞ケ関東中学校 3 年

酒井

られるのではないでしょうか。 度、住んでいる日本について知ることで、思わぬところに「好き」を見つけ るこの言葉。私は、この言葉には日本人の心が表れていると思います。今一 そのままの言葉の意味だけでなく、ロマンチックな告白の場面でも登場す

け継がれているということだと思います。 的確に言い表した夏目漱石も流石というべきですが、時が流れた令和の時代 うに思います。日本人の臆病さにも似た奥ゆかしさを理解した上に、言葉で させたところ、「私は君を愛する」「あなたを愛おしく思う」と訳しました。 は、 でも使われ続けているということ、これは、 す。確かに、好きだ、愛していると気持ちを言葉で伝えられる人は少ないよ 漱石が英語の教師をしていたときのことです。「I love you」を生徒達に訳 しかし、それを見た夏目漱石は、「日本人はそんな風に直球に愛を伝えたり 明治時代の文豪である夏目漱石の逸話が由来だといわれています。夏目 「月がきれいですね。」という言葉が愛の告白を意味するようになったの 〝月がきれいですね〟 とでも訳しておきなさい。」と教えたそうで 多少変われど、日本人の心は受

触れることができます。 また、西洋庭園と日本庭園の特徴を比べてみると、日本人の美の価値観に

の石や樹木を基調としている、不規則なアシンメトリーなどがよく見られる トリーなどがよく見られることです。一方、日本庭園の特徴は自然そのまま 西洋庭園の特徴は、花や緑を基調として自然を加工、規則性のあるシンメ

> ますが、自然との調和を大切にしていて、敬意が感じられる日本庭園の方が しさあふれる美を魅せているということです。どちらも違った美しさがあり せているのに対し、日本では緻密な計算で計算と見破られないように自然ら ことです。つまり、西洋では緻密な計算で、完璧に整った、圧倒的な美を魅 ^問らしい美しさがあるなと思います。

れる毎日に疲れた頃、人間の臆病さ、不器用さ、それでも前に進む泥臭さが 観かもしれません。でも、私は思いを伝えることに不安を感じ、 だと思いを伝えられない奥ゆかしさや自然への敬意が感じられる美の価値 を捨てなければいけないのだと思います。捨てるものに選ばれるのは、好き 私たちを受け入れ、救ってくれると思います。 か結局分からないし、私の考えは甘いのかもしれないけれど、完璧を要求さ たくないと思います。中学三年生の私には広い広い世界がどれほど厳しいの を感じさせまいとする不器用さに「好き」を見つけることができたから失い い恋心を隠して届けようとする臆病さに、計算を計算で包んで、簡単に努力 人がいますが、日本が世界で活躍していくためには、なにかに挑み、なにか 言葉を聞きました。日本人とひとくくりに言っても、いろいろな考えを持つ を背負って歩くあなた達は挑戦することを恐れてはいけない、というような 最近、日本人は断れないからいけない、自分の意見を持っていない、未来 白い月に紅

るいつまでも変わらない「好き」を見つけ、大切にしながら生きていきたい と思います。 急速に変化する今、そして未来に生きる私達だからこそ、心の拠り所とな

入選

私の主張

兄が中学生の時、夏休みになると「少年の主張」作文を書きます。漢字の上ので、女子である私は中学生になったら「少年の主張」作文に応募するだと思っていました。しかし、男女関係なく「少年の主張」作文に応募するだと思っていました。しかし、男女関係なく「少年の若いがでてきました。だろう?なぜ私が少年に?」と抗議をしたくなるような想いがでてきました。だろう?なぜ私が少年に?」と抗議をしたくなるような想いがでてきました。だろう?なぜ私が少年に?」と抗議をしたくなるような想いがでてきました。だろう?なぜ私が少年に?」と抗議をしたくなるような想いがでてきました。かっただけなのか。確かに「少年」という漢字は少ない年と書きます。漢字かっただけなのか。確かに「少年」という漢字は少ない年と書きます。漢字の中に男と表す文字はないのです。

少年という言葉に女子も含まれているということをみんなが知っている少年という言葉はないのでしょうか。

越西中学校 1年 眞田 晴

川

呼ぶことがあっても「男流作家」とは呼ばないと思います。さん」は聞いたことがありません。作家は男女両方いますが「女流作家」と例えばお医者さんのことを「女医さん」と呼ぶことがありますが、「男医

うか。 これは医者や作家のような職業は男性であるという印象が強く残ってい

疑問を持つことは大切だと感じました。 なランキングがとても低いという記事があったのを思い出しました。政治家 なランキングがとても低いという記事があったのを思い出しました。政治家 なランキングがとても低いという記事があったのを思い出しました。政治家 なり、変わったこともあります。自分が女子だからこそ気 に女性が少ないこと、根強く男女差別が残っていることなどが書かれていま になってしまうのかもしれないけれど、こういうずっと続いてきたことでも なうンキングがとても低いという記事があったのを思い出しました。政治家 という記事があったのを思い出しました。政治家

プのない日本になっていくきっかけとなるのかもしれません。
少女の主張」というタイトルに変えて欲しいなとも思います。女子である私
少女の主張」というタイトルに変えて欲しいなとも思います。女子である私
という言葉を聞いて女子を思い浮かべる人は少ないのでしょうから、「少年
というタイトルが一番いいと思っていたけれど、今回調べて考えているうち
というタイトルが一番いいと思っていたけれど、今回調べて考えているうち
少年の主張作文というタイトルに疑問を持った時には「少年少女」の主張

底辺の仕事なんてない

僕の母の職業は、世間で言うところの底辺の仕事になるらしい。介護の仕

事をしている。

うつぶやいた。 たが、母の表情はいたって明るく、けろっとしていたのだ。そして、一言こ 護の仕事は第十位だった。なんとなく気まずくなって、番組を変えようとし ある日の夕飯時、テレビのニュースで、底辺の仕事ランキングを見た。介

の下の力持ちってこと。」 「底を支える人がいるから、社会が上手く回っているのよ。底辺の底は、 · 縁

と、母は笑って言ったのだ。僕は、底辺という意味について考えてみること

りと、電話応対に追われる。 事をしている。朝の八時半に出勤し、泊まっているお年寄りの朝ご飯の片付 しい。その間母は、泊っているお年寄りの様子、ちょっとした体調の変化な 介助もしなくてはならない。お風呂の介助などは、介護士さんがしているら けからスタートする。片付けをしながらお年寄りのトイレへの付き添いや、 祉士という資格をもっているが、今はショートステイの生活相談員という仕 ンしているのには何か理由があるのか、調べてみることにした。母は介護福 まず、母が普段どんな仕事をしているのか、介護の仕事が十位にランクイ ケアマネージャーさんや家族に電話で伝えたり、利用の予約を受けた

どに詰まらせないように気をつけながら介助しているらしい。介助の後、 そして、十時のお茶入れが終わると、昼食の配膳や、食事介助をする。の

川越西中学校 2年 奥富 おくどみ

寛かんた

やっと一時間の休憩がもらえる。

バレーをしたり、ケーキバイキングをしたり、自分の考えた企画でお客さん が喜んでくれることが何よりうれしいと母は言っていた。 午後はお客さんが楽しめるように企画したレクリエーションを行う。風船

いので、必死で荷物を確認するらしい。 屋の掃除などをする。忘れ物があると、自宅まで届けに行かなくてはならな そして、三時のおやつ提供のあとは、自宅に帰られる方の荷物の整理、部

さにつらいだけの底辺の仕事。そんな印象を持ってしまった。 もしんどいもので、しかも、それに見合ったお給料が出ないこともあり、ま ら、たくさんの業務をこなす介護という仕事は、やはり体力的にも精神的に ながら、僕はどっと疲れてしまった。朝からずっとお客さんに気を配りなが そして、最終的な事務作業を終えて、十七時に勤務が終わるそうだ。聞き

頼がある。たった数泊でも離れた時間を持つことで、気持ちを新たに介護に 向き合うことができる人もいるそうだ。 は過酷で、家族だけでは難しくなり、気持ち的にパンクする前に泊まりの依 では、なぜ母は底辺の底は縁の下の力持ちと言って笑ったのだろう。

辺なんかじゃなく、社会に必要な仕事だと思い直した。 困った人の気持ちが少しでも軽くなればと、一生懸命働く母の仕事は、 底

底辺の意味は決してマイナスな意味ではなく、立派な仕事だと僕は主張し

言語の学びを通して

ずそもそも語学を学ぶことが好きという人は多くなく、さらには英語の必要 うに聞こえます。日本だけなら日本語だけで事足りるからです。しかし私は、 でいるのに英語なんているの?」と言います。それは一見筋が通っているよ 性を全く感じない人たちすらいるようです。そのような人達は「日本に住ん 私は英語を学ぶことが好きです。しかし日本を見渡すと、こと英語に限ら

英語を学ぶということは単にコミュニケーションのための新たな道具を身

につける以上の意味があるのではないかと思います。

問われるものだと気付かされました。つまり翻訳された作品を見る人、聞く にそして逐語的に訳すものだと思っていましたが、翻訳するということはと きなかったので字幕を目で追っていました。しかし、英語にだんだんと慣れ らは必ず日本語字幕で見るようになりました。最初は話している事が理解で それまでの私は洋画を見るときは必ず吹き替えで見ていたのですが、それか されてとても感動しました。そして私は英語を学ぶことに夢中になりました。 しているのだと気が付きました。私は小学生の頃は、翻訳というのは機械的 か通じないネタや言い回しだったり、訳しづらい箇所を翻訳家が意訳したり んのセリフの意味が違うことが時々あるのです。それは英語が話せる人にし そしてあることに気付いたのです。字幕で表示されている日本語と、役者さ てくると、役者さんのセリフも部分的に聞き取れるようになってきました。 使っていたカタカナの外来語が正しく理解できたこと、例えば「カモン」が 人、読む人は、誰もがそのオリジナルを作った作者の思いや意図を完璧には ても奥が深く、解釈や表現力を伴うとてもクリエイティブな仕事でセンスが かしやってみると単語を繋げて文にする手順が楽しく、今まで普段何気なく 「カムオン」、「レリゴー」が「レットイットゴー」であるとしっかり英語化 私は中学に入るまで英語をまともに勉強したことがありませんでした。し

秀明高等学校 2 年 趙

きるって何て幸せなことなんだ!ととても嬉しくなります。それは日本語訳 を見て日本語では聞いたこともないような表現を見つけると、英語が理解で ンス、民族性や時代背景というものがあり、だから翻訳では乗り越えられな です。「それで困ったことなんてないから別に原作を読まなくたってい り、どんなに優れた翻訳も彼らの解釈や思いが少なからず入ってしまうか 汲み取ることができないのです。なぜなら作品と作者たちの間に翻訳家が よって世界観や思想感が異なるのです。 や日本語の違いだけでなく世界には数千もあるというそれぞれの言語に しか見ない、聞かない、読まない人達には経験できないことです。この英語 しか世界を見られない、感じ取れなくなってしまうのです。私は洋楽の歌詞 い「壁」があるのです。それに気付かない限り私たちは日本語という土俵で じゃないか。」という人もいるでしょう。しかしどの言語にも語感やニュア

界で我々に求められるスキルです。このようなことから、言語を学ぶことは 持って生活しているのです。そして私たちは物事を考えるときに言葉、つま 男性名詞や女性名詞、中性名詞などの区別がある言語を話す人たちは、日常 類もありますが、三種類しか色を表す言葉がない言語もあるのです。また、 作っているともいえる思想です。例えば日本語には「色」を表す言葉が何種 ことは、二つ目の魂を持つということだ。」と。つまり、言語が現実世界を コミュニケーションの道具が増えること以上に価値があると思います。 得することがどうしても必要であるのです。これこそグローバル化が進む世 ため、ある言語を話す人たちの文化を真に理解するためには、その言語を習 り言語を通して考えます。従って、表現が違う分考え方も違うのです。その の中で無意識の領域であらゆる物に対して、男性、女性、中性のイメージを 神聖ローマ帝国のカール大帝はいいました。「二つ目の言語を持つという

いつかの正解へ

慣れ、忙しくも楽しい日々を送っています。しかし、時々心の曇りのような 気持ちを感じることもあります。 指して、目標を叶えることを考えて決めた高校です。今はその高校生活にも 私は今年の春、晴れて合格した高校に入学しました。自分の将来の夢を目

中の曇りのような気持ちは、この決断のことです。私の決断は正解だったの きの高校受験で自分の進む道の大きな決断をしました。どこに行くかたくさ るという厳しい道で、その為にどう行動していくのか、私は中学三年生のと もしました。考え出せばきりがないけれど、自分の決断に自信を持つことは んでしまったり、自分が下した決断に自信が持てないことを悔しく思ったり か、自分は正しい道を進んでいるのか。この数ヶ月間、そのことを考えて悩 今日までの数ヶ月間を色んな思いで過ごしてきました。私が持っている心の だったからです。それから入学試験を受けて無事に合格し、高校に入学して、 かっていたけれど、それでも私が一番楽しく笑っていたいと思ったのは将来 分自身で決断しました。私は将来を選びました。夢が叶う保証はないとは分 校三年間か。毎日たくさん考えて悩み、色んな人と何度も相談して最後に自 ある学校か、陸上競技や高校生活を満喫できるであろう学校か。将来か、高 り、またずっと陸上競技を続けてきた私にとって、スポーツドクターは心の やスポーツを楽しむ人々の為に働く医師です。小さな頃から医学に興味があ 本当に難しいことだと思っています。 ん考え、最終的に二つに絞った志望校。将来に繋がる勉強ができるが不安も 底からなりたい!と思う最高の目標です。しかし、それは大学で医学部に入 私は今スポーツドクターを志しています。スポーツドクターはアスリート

道だからこそ自分で行動していくことができると思います。いつか振り返っ で正解にしたい」ということです。不安な気持ちはあるけれど、私が選んだ しかし、たとえそうだとしても、今私が思うのは「自分で選んだ道は自分

秀明高等学校 1年 佐藤 葉月

たときに、これで正解だったと思えるように、今できることを精一杯やりた 、です。

とが正解』というだけなんです」大谷選手は自身の目標の為に何度も大きな 強さを持てるようになりたいと思います。 いつか大谷選手のように、自分が選んだ道だけが唯一の「正解」だと言える てない」そう自分に頷いてあげられることは本当に大切だと感じます。私も は自分の決断に自信を持つ勇気をもらいました。「これでいいんだ」「間違っ と思います。「やったことが正解」だと強く言ってくれる人がいることに私 決断をして、それを正解にしてきたからこそ、自信をもってそう言えるのだ 決断について問われたときにこう答えたそうです。「僕としては『やったこ 今世界で活躍しているメジャーリーガーの大谷翔平選手は、自身の様々な

にすることに意味があると私は思います。 なにも不安で未知のものなのだと初めて知りました。道を決めた後も不安が 択は私の人生で初めての大きな大きな決断でした。どちらが正解か分からな 付きまとって苦しいけれど、たくさん迷って決断したからこそ、自分で正解 くて本当に迷って、でも絶対に決めなくてはならない、そういう決断がこん 私の決断が正解だったのかどうか、今はまだ分かりません。ただ、あの選

自分の決断を不安に思ってしまうときや高い壁を前にして挫けそうになる だこの道を信じてこれからも前進していきます。 ときがあると思うけれど、たくさんの人からの応援や人生の先輩たちからの ような強く優しい言葉を誰かに言ってあげられる人になりたい。この先にも、 れで合っている」と言ってあげたい。そしていつか、自分が勇気をもらった 言葉を心において、乗り越えていきたいです。いつかの正解へ、自分で選ん 私は絶対に夢を叶えたい。自分の決断を正解にしたい。あの日の自分に「そ

選 評

審查員長 月越小学校教諭 佐 藤 麻友

優秀賞受賞者は、さらに独立行政法人国立青少年教育振興機構が主催する より、同世代の青少年の意識啓蒙と、青少年の健全育成に対する大人の理解 日常生活の中で考えていること、感じていることを広く社会に訴えることに 川越市教育委員会が主催する作文コンクールです。当コンクールは青少年が 玉会議等が主催の「青少年の主張大会」に推薦され、当大会の中学生の部最 と関心を高めることをねらいとして、昭和六十二年度から実施しています。 「少年の主張全国大会」への出場候補者として推薦されることとなっていま また、最優秀賞・優秀賞の作品は次年度に開催が見込まれる青少年育成埼 川越市少年の主張作文」は、 川越市青少年を育てる市民会議・川越市・

五編を入選作品に決定いたしました。 審査の結果、中学生の部から十三編、高校生及び一般の部から二編の合計十 高校生及び一般の部から百七編という多くの応募がありました。その中から、 歴史と重みのある当コンクールに、本年度は中学生の部に七百九十九編、

な人に話すことで自分の見識を深めた作品も見られました。日本が抱える社 づいて考えを深めるものが多く見られました。また、「他者との関わり」に には、他者との関わりを大切にしながら視野を広げてほしいと思います。 会問題が多岐にわたる現代において、これからの未来を担う青少年の皆さん ついて悩み、考えた作品が多くみられた一方で、自分の悩みや疑問点を身近 た、現代社会において世界中が関心を寄せる題材を、自分の身近な経験に基 応募作品のテーマには、「戦争と平和」「ジェンダーニュートラル」といっ 入選作品の内、上位四作品は次の通りです。

早良子さん 『私たちの知らない傷跡

優芽さん 『家族に「ありがとう」』

更紗さん 『清掃と向き合う』

な現代に住む私たちには「命」を奪われる恐怖や「生きたい」という強い執 舞台で演じた演劇をきっかけに、「戦争の歴史」について記しました。平凡 最優秀賞になった佐藤早良子さんの『私たちの知らない傷跡』は、自身が 芹菜さん 『言語の学びを通して』

着は理解しきれないと感じた佐藤さん。戦争という大きすぎる難題に、今の

自分が演者としてできることは何か、真正面から向き合う文章が、平和を切

青少年ならではの純粋さと気恥ずかしさを丁寧に表現しました。 たいのに言えない「ありがとう」の言葉を巡った文章は、味村さんの見聞き を通じて家族を思いやる気持ちに焦点を当てた作品です。大切な家族に言い したものをそのまま切り取ったかのようにありありと情景を思い浮かばせ、 優秀賞になった味村優芽さんの『家族に「ありがとう」』は、感謝の言葉

ちの強さを感じます。 黙々清掃の伝統から、清掃への向き合い方の変容が記されています。誰もが 変化は、同世代の心も動かす説得力があり、前向きに取り組もうという気持 感じたことがあるであろう「清掃はめんどくさい」という気持ちを持ってい た矢嶋さんが、学級委員という立場から清掃交流会を企画するまでの心情の 優秀賞になった矢島更紗さんの『清掃と向き合う』は、中学校で出会った

ました。 と考察する姿は、これからの未来を作り上げる若者として、頼もしさを感じ してではなく、その言語が生まれた世界観や思想を理解することにつながる す。グローバル化が進む現代において、単にコミュニケーションのツールと 味について、自身が英語を習得する過程で感じた価値を深く考え記していま 優秀賞になった趙芹菜さんの『言語の学びを通して』は、多言語を学ぶ意

に浮かぶような切実な主張が多く見られました。子どもから大人へと成長す その中で自分自身はどのように振る舞うことができるか、悩み考える姿が目 索してください。 の主張に触れ、他者の主張を知ってほしいです。世の中の事象を自分事とし る多感な時期だからこそ、青少年のみなさんにはこの作文集を通して同世代 て捉え、他者の意見を認め、その上で自分がどう考え、どう生きるのかを思 他の入選作品も、日々のめまぐるしく変わる社会情勢を敏感に感じ取り、

進めています。彼らの心のうちにある確かな主張を真摯に受け止め、さらに よりよい社会を築くために、皆さまにご一読いただければ幸いです。 日々アンテナを高く張り、思案し、時に立ち止まりながらも、着実に歩みを 解決すべき社会問題が山積する現代の社会情勢において、青少年たちは

日ア環中子もか日私世最定生将兄幸が将大い自最自未動川僕ゴ「い環日戦鐘地A春本 マメ境学どしん本が界近期き来弟せん来切じ分近分来物越にミ親じ境本争の球 | とは 友め問でに音温の秋人学 のリに生ももちの思平のテてにのはばのなめをがでを殺ま 生力つでの○が未う和夏スいつ損世っ夢、に変ん決担処つ での だ で変ん決担処からない。 で変ん決担処からない。 携対えばめう分の地い。 帯しるった私ゼの地い。 電でながらなが、 での地では、 での地では、 でのが、 でいるない。 でいるない。 でいるない。 でいるなが、 でいるが、 でいなが、 でいるが、 でいるが、 でいなが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 つでの○が未う和夏スいつ損世っ夢 活のいが権○い来環には卜くい得界て にとえパ を友てん利が 境つ暑と中て 共い 変 達 問いい将で 通る 電 とて道が口文球社 ば な 7 世来い \succeq ・「今」 を目指に 温暖化な えること ζ いも世ル 2 題て 来 事 話 ()() を化温会 る っ Ĺ うこと てに界ピ 7 な 0 問 っ や 夢 -() 題] 私 思しに防 るこ た 15 ス が思っ l) う 7 0 É () Y たこと 7

富富富富富富富富富富富富富富富富富富富富富富富富富富初初川川川 見見見見見見見見見見見見見見見見見見見見見見見見見見見見見見見見中中第第第 中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中 3 2 年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年 2 1 1 年年年

1)

林延中中中長テ千田髙鈴鈴鈴鈴嶋後郡黒栗倉熊河金勝香小大大内牛池飯荒関長進中石 山山元島澤ィ葉村橋木木木木原藤山田原田沢村子田川川川石田戸内島木口澤藤野川 遼 ウ 太瑠歩達空璃 翔文慎拓彩琴亜大亜あ陽一恵彩壮巴伶凪凛慶莉美奏周杏駿ひ勝日真佳 朗香翔彦快奈 リ大音ノ登恵乃紀心美お夢郎寧花一赳衣 士奈月太 南汰じ己奈秀那 助 菜 郎 V) 子 子 1)

戦ジ介海身戦戦ジ震指平川ス努平腹見人人少ス動誹ど生進き私私十私人日将プ誹部命いテ学ヤ ン展領十川人为十版九人人ラ人動語と王延さ達仏「仏人口村ノ話的叩い」すべて災導和をマカ和のえ種種子ケ物謗んき歩のがの六を種常来ラ謗活のじス校ン 工護洋近争争 より よ将歳成差ののス中が大め 来か長別学夢チ傷少切を J こけ いにらさに校にッのなさ な点にア 未つのせつ生向クな過 ののつつも 中との つろ 平ばぶたいつて てや謝つ 平 数つラ 来 で 等 さこめ 怖差いいど で 本の投て い活けゴいぎ すにいし 1115 1) とに ため れとに さ別てて て票 < ミ世る て食 7 6 (てに 7 た怒て ること 15 な を 界! める 品 課 ħ 0 にて 表 題 3 減に に親 U つ つ 1) きること 7 b ス () () L Z 吹 そう 7 7 方 対 奏

で

ŧ

応

5

に

あ るの 楽

下鹿佐佐酒齋齊齊小木菊神川蒲金梶奧岡岡大大大大遠宇臼伊市石池安青渡渡山森本水松增堀平 倉藤藤井藤藤藤嶋村池田和谷澤芳野田田宅森塚井藤津倉藤川山田部柳邊邊川井宮出下田 晴 田 木 獅 奈颯結大紬優琥賢菜朔那步 聡茂雨恭紅彩航賢育敬千 大悠稜梓和柚竣楓葵七結笙拓世蔵旺真 介香輔喜羽太太乃哉皐徹純太 音行葉葉一司翔都枝蓮貴汰馬乃樹葉太 津那太寿梨之 平 郎朗 葵 介 郎郎波 莉

な未埼全今最世ピロ地冷日暑「寄原テ私日A貧少戦未持環推未地自病地戦少感勉食動好物地L ぜ来玉てに近界 | シ域房本さしり爆ニが本 | 困子争来久境し来球転院震争子謝強べ物き価球 G とG添 ス続のイ問高にの走問活の温車のへに化をす物のな高温B ルの県の送ののマアコ施の |日の人る悩状ンとミ設 G 学 B い 部け幸ラ題齢よ地が題 た暖の人のつに伝るのすこ と暖 Τ ル本魅が警み況嫌ウュをD校T のた福スに化る球大に め化マ 備いつえ理大みと 賃化Q 脅のき対 Ρ をに力自告 いクニ増 えている由切かだ上に+ Q か度トつ ににナ を L 威たら 守残 かラテや 1211 7 ż けげつに 分 15 つ つー 7 あ るし らイィし つて いを しにいっ b 0 めい 学ナのてげ 私 15 守 てつてい のた 7 L 1) 1) た る ぶに大ほ < 7 ろ ない 7 かい 7 方 ち 地つ切し う 7 ŧ 生 ぜ 日 が 球いさい き Ŋ 0 Q 15 で X る 思 温て つ きること た 暖 な うこ () 8 化 0 て。 と 15 か

斉栗木川小小大石浅渡米横山山山山矢宫三益古萩西中中中永内德手土土玉田高高高須鈴鈴白首 藤原村﨑野髙竹井見辺澤田下﨑口口島本谷子川原島西島嶋倉藤島計屋本谷中山山橋藤木木根藤

心里龍夢蓮愛瑠利七瞬の怜翔芽凜雄あ麻虎晴惺康詩遥颯奏莉結大陽玲大知雅悠航ひ凜幸あ綺楓 桜平乃太唯希空海 こ哉矢生咲士た央太 士太杏希太太奈菜輝菜稀翔也姫太輔よ 斗お香 朗美亜 る 郎 郎 り な

A人私名川夢改言ピ動ソな読犬海な同習犬マ家ボ部何趣私様の私「川不部Sあ火A日自手地私 で味と々び達あ越登活Dいが1本分軽球が 善葉ア物フり書のをぜじ慣猫イとラ活 |種た言の たにり市校でGさつ化の自さの思 でノヘトたの殺守僕命がのク部 ものギな に差ちでゴ とどがのの学らついに貧身の環境 言ゲタ友 負別に変え 変でのテい考処るらを変幸口活テ けにでわ わつよ二自察分には守えせプと 1111 っとま人ん水のたつ困を中境学 ラ ってうちをだと価 ないさった 〇は勉りてをラこ るなりス分 P 合 ムの い問成にに校 もの を減こ魚値 争が良で 強たし願スれの 1 て題長あつの は ż こ人 守らとを 7 いっい学 可 をいま っチかす る へさるい過 は んっ のせ危て と生 た環ん す 7 ッらす 家 の外 るす 守 能 っ 1) 共国 た 大境だ な 3 族 たた る 取る険 L つ 依 \sim 依存! りた 切 0 0 私 ŧ めめ 方 な か か た 1212 くめ 性 Y 仲 ち 0 みに 15 っは 間 0 咸 ()?

覚

久桐木北北神河河小小奥大太大大及遠江内印井伊石池荒荒天吉横山間松松穂日早西夏千田竹高保場村爪田田口合/高山竹田久金川藤﨑山藤村東山田川井野海山田仁本田積原川岡川葉中内野 保 田

桃美彩乃巧優杏舞 梨菜智瑛 莉隆蒼寧な奏和文翔咲健桃希よ和心 紗凛優悠琉優瑠優音理由 佳沙葉々 真奈浬咲里乃彩次凛愛之也音ず哉宏 大綺人華音つ音桜曉和 希揮唯奈那里羽人美 希 果 月沙子 子 介 な ば 子 約算本長し美真社夢未私心最自私み過明同夢バぼ私努ゴ戦海ち将少ジみ薬職コ動暑世普北ス我 来のの高分たん去る性のスくとカミ争洋や来子ェん削業ミ物いの通方ケら 強数を生ょ容夏会 のにちなのい婚可ケの生の問のプんの高ンな師のュ達中中 なか通きう師のの 領ボの んらしすらに暑た は切も家合にを過未が能選趣き花題なラと目齢ダが 選力を私の 土 | 誇 て新てるいな さめ にっ族っで笑ち来認性に味物 にいスし標化 | 楽 択と守達平 問のる とに したとたき顔の つ未チた たるが和 たのる つし 8 な Z VL 題楽パ まい め夢た工で たあはもるに考 い来ッ勉 たたでを のしン b る 私スい めア ずめき目 解いダ ら数 15 き す え 15 てをク強 達を世 0 机 1111 2 決ところ にコる 願ゴの Y る 受の る指 もさ る は じ こすと た平 ン っ 世 っミ仕 け中 111 0 か め和 界 設と を 入に ての方 机 玥 15 備 \sim 0 状 t 考 う

ż

宮見松松星布福平林林濵濵二鍋永永中中直戸椿辻田田高鈴鈴新清島佐佐佐佐坂坂坂榊斉小小 中﨑宮嶋元峯田澤野村 松邊中橋木木上水﨑藤藤藤藤藤本野下原藤茂平 内城永井野施田沼口 T 汰 田 希奏優恵 愛愛茅英理菜優陽桃心光楽凰智紬珠希大優絢心日秀悠達步綾 は千暁 智璃明隆希 梨 美一也之和爱奈衣梨 琉凪茉帆々華和子映希 太遥衣吏望椰希奈玲波斗音紀実柊優る尋登陽花 紗ひ 介 来 花 美 生

言自仲学メ世世地私地最僕戦ボ私部戦夢プ趣生あ福今誰無将空勉争ポ先末命隠陰将い嘘将今ゲ 葉分間校イ界界球の球高の争うを活争をう味きい祉のも言来中強いイ輩永のれ口来じの来の| クのの温形温の一にン表にの持スと るさにまが清の格をの捨達く尊た のめなの日ム 男た子暖 暖推番つテ現入影でチ将意 つつま幸掃た闘す なての地 びくにを 子めど化 化しのいィすら響なツ来味をいでせのめ技るいをよ球 の口音めは学 ていに意に 理世なうで戦を由のくに暮争表 楽 のもを を活悩てア るな いク 見の楽に変習 方 L を 15 国は防 子問 い生味で つ世 必えの 止プみ 7 L 1) 際どぐ 通とと めラ 始 き 要る関 ŧ 供題 のき 中す ならのに け界 0 なこととないませ るこ だる よン たの ŧ へたるす醜 () う L 方へ 1) う ち現 ろ未 7 力いめ う 7 る めたたさ 考 うに う来 Y にめめ ! 選 状 部 ż 生 択 活 かへ 1212 ! 活 る 肢 ! な

0

齊近近小倉久木北川川金加加加嘉岡大大大海上上上井伊伊市磯石池新相吉吉吉吉横山柳築森棟 藤藤藤沼川保村田本瀬井藤藤藤手本中河井野地田門上藤藤川 毛田井田村武田田道﨑澤 ' 内 塚 Ш 玲遙愛 未理真慶紗美知孝詩博 絢 湊 豪陽正陽悠寛結ひ明太詠ゆ凜ほ直和昊愛桃美玲乃要隆 () 来央央明綺乃貴介乃之蓮王陽梨葉音介芽心気真彩人太香な香 の廣美右莉春侑奈佳晶介 名 奈 莉 衣 た里 か

私身原イ人将救あ好将「国自戦地環人部A部将今一差男修〜ミ夏私平一気バボ大世食い「多人 の近子ンの来わいき来タ、分争球境種活 | 活来年人別女学中スのの和人付ンラ切界品じ相様を 将な爆タ権のれさなのイ性のし温問差をの でと別旅高を思趣な一くドンなの口め性性笑 のこ 夢そ生向高行生許い味世人こマテ友いスを」に顔 をはきき校先へせ出 界のとンィ達じがノとつに 来い弾|利夢るつ事夢タ別たた暖題別始普 に顔 じとネ 二関めく化に (命は め及 夢め広ッ ッ係になにつ の自のにア ら合はにくる 私を心 ては 実 め伝ッ」いす か島 と増を クな 実由大な活 えク戦てる 変良 際 れっ差選今社 いつい Ĺ てアい思ダ 切り動 b 15 看や豊 いて 15 なて別択だ会 現 わい ことな 、くれっ方し 護すか うン 0 7 つ 的肢けへ 0 さまに 1) たこ こサとし ż 5たに 凄 ?をの た す疑 れト サ 1) 存 たこ る 貴 問 7 めす 7 8 との 15 考 重 にる E か な ż は 時 る

間

方。

に報の を夏

吉吉横山柳守向宮宮宮宮溝丸圓古藤福平樋ネ丹西西中遠土田田館立髙須鈴杉白東島三佐佐櫻阪 田田道崎沼岡澤寺沢川川端山山谷本島塚口パ山山村村山田中中野野橋田木本木海田瓶藤藤井本

リ心桃綾響結里誉月一れ大千千魁康 朱瑛風秋晟珠玲悠優結真香梨博遼一朋拓絢 な菜蓮敬陽久 希翔花翔名唯 耶希衣依乃珠夢甫輝樹海太 音那香 稟桜士誠夢い寿歳里人士優の桜 太斗留 あ 朗生は 実 3

ツ

文昼態こ安戦地変自相夢ア増自自最環格剣か自す人平人自校時ネクL身戦生快入 先校風環私将 寝度ん心争球わ分手をプ税分分後境差道り分べ間和と分則代ッラG近争き適っ 生則評境の来 のににしを温らのの追りメにたの のの部がかて関を繋 との被の成に でににトリBなにづなて い必害重長不 導関ちて起暖な進気いをガとち<mark>教</mark>たなにねらの係望が考つ適リネT人つら学良 う要 安 入しは仕こ化いむ持か選ネっの<mark>え</mark> めい入廃変子にんるえいしテ ッQ に社っ止わ供つでとるてたラトかのて世にっ てア事さに「みちけ択 て時 仕 性 性 を フすな対将ちにてす 勉代 会てにるにい 思教シとらう 界すた 事と 持 11 うこと りるいす来 へ学反た学て な 強 でる は ん対めび私 カたたるの 0 若 Z のに だこ 者 めめ考夢 7 は にのが 私は ににえ 場思 うした様し が 0 を たい今性 増 うこと 生 め情年 + ż

中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中 中中中中中 中 3 2 2 年 年年年年年年年年年年年年年年年年年年年 年年年年年年

7

()

島 渋 三 猿 佐 佐 <mark>榊</mark> 三 斎 齊 小 護 児 肥 小 櫛 木 木 河 假 金 <mark>笠</mark> 柿 奥 小 尾 岡 大 大 内 印 石 勇 池 井 安 有 畔 浅 浅 渡 吉 﨑澤瓶見藤藤 <mark>原</mark>枝藤藤宮守玉沼泉田村村村屋子<mark>原</mark>崎山川方崎竹関田藤本 田口斉馬上見野邊武 田 未 心結彩 結圭千遥麗遥基日麻歩に唯柚優倭美な理圭瑠勇悠音彩蘭姫音凛莉穂璃玲衣茉瑞心夏真 芙愛佳嵩佳一 織真彩真貴那希実こ吹帆希 優な央太太将真葉矢 夏哉太 香久 純桜貴花萌歩 太 海 朗 郎

私今影私海私今人人頑僕な日閉私勉英私知変感私僕「増阪将夢終増生今絶」お気ど家自勉僕観 んないない。 が強語たらな謝がの食え神来をわ税きの滅 日のをちな校を今こ てタの叶らのや環危 C.Chill に る な 時 をり常じ のと響がのた私と工張 覚未力運こちたし たはた日のをちな校を今こ 知っ とinのと客 動とにちて能て つる代のス楽 長い奇夢 々意学のい則込世とのいイ夢 えな必す境惧 悟来 さ自跡の思味ぶす人 めてに 大るガ 時ク 1.77 0 生間 えど きで 分の扉うと大べと 切ポ た戦性世ら 1 架 よる 1 かて 宙 さ必ナ り に繰がこは切きの なり 2と さこ接 主 る H 意れ きること るこ で さイス れはル 要丨 め争 の変 b なりること。 味だこ 人と きる 捨に 15 中わ て必 橋 学 も要 けと る返っ とし のる 権 てつ べ 和か 侵 たたしの 方 たた 知 () る っ 害 剣め 鍵 7 めめ な 2 7 道 に 15 へ 1212 #

中中中中中中中中中 <mark>中</mark>中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中 3 3 3 2 2 2 2 2 2 2

伊石新谷髙佐小小久川磯石吉山森水三丸増前藤樋樋伴早服畠乃野西奈中中中角佃田髙髙鷹関角 <mark>﨑</mark>山田本山戸上山田田本渡口 中橋橋取谷野 藤井井島橋藤林関留畑 船部山坂枝廣雲村原島田 嶋 大 璃 麗<mark>匠</mark>暖愛彩羅拓咲結颯悠優咲逞樹智大波悠亜奏実歩歓悠宗乃七知麗輝そ颯陽香<mark>人</mark>乃彩華月樹希衣太稀里乃 貴喜音介古汰緒夢大太助 海里 ら 輝唯音未百璃絢未 愛羽華音子音唯陽香 奈斗

二将夏戦差未私心家家な平悪選日個自環あ海県紙私 陽戦家私趣趣そ平Aい食一勉殺へ キ争族の味味れ和 | じ品生強処無年来休争別来のの族族ぜ和口択本人分境き洋ベスた ぞなとめ口消を分題生のみにをへ大支 が勉をか肢ののでにら汚 ャは旅夏 い行休 れ世共 スえす ま夢のつなつ切え い強願らか鉄考考つめ染トロの 部いくなな になる 多け 4 の界に て てし っ自ら道ええいなと4 | 知 すな 活てすぐ妹 つい意 よなて傷のののるてい政をかる 道を造 0 た川 行自問違こ ぎい 目る い傷味 部 かい め越 まこ 指未 7 活 っと 為己題いとえ į せと 来 考 にま た駄 や表 かのる たことなり 7 ż 6 <u>つ</u> 自 現 ら大 1) 4 る か 殺 起切 ? る Z 0 \sim ک : る ? 問 題

る

?

つ

()

7

モ ストち] 0 1 存 1 ラ 授 Ź 業 価 1 考心治目ら権 値 指学利 積 2 1.3 上 て環 げ 境 て 問 作 題 る 将 来

界

を

願

0 て

Y

は

芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳芳城城城城城城城城城城 城城城城 野野野野野野野野野野野野野野野野野野野野野野野野野野南南南南南南南南南南 南南南 中中中中中中中中中 中中 中中 中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中 中中中 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3 年 年年年

原花堤関管管清篠坂小小久北奥大内伊浅山村藤花長田須斉小金鵜山六松増野野西中小小小岩伊 根谷間水崎井林池能方山橋田藤井田田崎垣瀬島賀藤久井殿本田原田中口形島白野川田藤 保 井 寺原 こ桜大ら柊杏彩悠美大桜葵那心利遼奏瀧龍琉祐徠千好恋慧 柚月雅智和憲翔亜遙誠 果凌 ひ姫 6 希翔斗威羽 奈暖来太羽惟之梨次姬生華々吾碧奈楠恭士輝哉太瑚人士真 美 慶林央 智香 郎央 美 介 菜 郎 な 波

あ仲戦み父一親努大祖僕見研受私キサ受水一優高住合あ同聴し命部みコ身高戦私夏強薬日将ゲ こ間争んさ人と力先父とえ修験たレッ験を度先校み宿いじくGの活ん口近齢争の季く物常来し さ過作B大でなナなのに趣大な乱生のム つち文丁切学が禍もひつ味会っ用活夢の 輝 をのいい ふがおて な必活い のを Qさん た を 時 んだこと っ要に地 野ダ大 < 重 15 間 ż ん要々のしさ年 多の勉の 要り り凶ば思 在 たか向球 球メ切 私 0 制 部、に く一強た こ否け にさな大て 半 た 性返 か器あう 限 1) 等 こっとさ の年をめ えにちゃと ゼす にさ 謝 ち とかて 15 な な ッる V) すに 15 反 0 # 夕意 た 対 る 必 ()() 6 界 要 てた す イ 0 味 () を なこ る か 8 目 15 指 Y L

3 2 2 年年年3 2 2 2 2 2

7

さま ブ

た ル

め

15

は

め

0

努

カ

郎里

小浦新渡吉山山森增細福尾引畠中仲長對諏鈴鈴杉菅須篠澤齋小金小岡大飯渡山山谷矢堀星日原 川山井辺野田田下田田田留地山村田澤崎訪木木橋谷賀原田藤久内野安隅島邊田口島澤内野比田 Щ 保 部 航実絢美達さ 湊珠亘琴悠凜仁暖 優颯優結彩莉彩諒愛健美圭 な尊敬莉陽舞啓心佳柊健 英 太央翔奈虎美奈磨太來輝季音織也つ由心実 寧輝音志人陽梨斗華菜衣愛加子梨太那輝弥崇 な 和垂 4 朗桃 き翔 郎 生

仲怒感学な努地今今戦家私環地動小私存人い私将自「労戦私将悔自剣未ひ「工動環バ命努持今 さた在々つと来分今働争の来し分道来びい夫物境 くち感がで部ので」基に部にかのとの思たでがな る謝校ぜ力球のと争族の境球物 間 のの差 ち感がで部のでし 基に部にかのとの思た Y °温私昔をの将問にの 起大来題寄幸尊がと大も活事決 夢 気生別 暖 に で準つ活 切のにりせいでは切隣 き法い動いた来会め を 持活が 化で 8 ボ 1= 1 、きる たるこ さ夢つ添 命 にき 7 つ ちに起 L 社る 1 なめル L なす、か解か つる つこ いう 思メたたで 7 15 会 か 肝からいよう な を上 111 活と きること む いる 7 \succeq 幸 15 Y は けせ ごち よう ての 7 2 動は は 瞬 1) () 机 達 う 間 か 1+ を 0 ば 15 す そう 走 卜 な す 1, る ラ 1) た 1+ る

2 2 2

な

1)

Y

大大及榎内岩石荒荒浅渡山谷村宮松前二野野野沼中千田竹染関鈴鈴七佐坂酒齊小小小小栗川春 竹河川本海﨑井木井田邉田田田﨑本田口原原口野森明嶋内谷根木木戸々本井藤林林林泉島嶋日 原 木 紗楓佐天優の望早彩か朝紗梓望あ夢悠千虎梨葵虎凛滉美鈴悠心大 康陽凛蒼幸明咲里知悠 乃翼新真保琉花之来也花ぐ飛菜恵来ず生 裕太音泉太花人來夏璃花和望誠葵 真太香來佳勢矢

朗

愛

華

郎

果

b

莉

ょ

自いル百地私近ゴ平絶家一平処一人環脱ギジ私な水S私ポ戦誹勉僕だ川食自日動性今部スポ日 エがぜ質Dをイ争謗強のれ越品分本物別ま活ポイ本 分じ | 万球達年ミ和滅族番和理年権境炭 9 1 ン 絵殺汚G変捨に中の趣もの口でのへのでか」捨の のめル灯をののとな危と大な水の 問素 題社をダ を処染sえてつ傷意味がおス考環の壁のらツて税 趣はに祭み将異私世機の切社を成 か分をにたといったといって 楽祭問え境愛は 味無つりん来常た界を時な会流長 に会始 といに味 な サ得か問 つをめフ なの気ちへ救間物をし L 乗 (1) り 題 情 ッるら題 い目でリ る学べるにつ なる で生象 う 続すべいン境考い りカ 7 目て に選 8 1 助活 た 指い て指気 けるてて サ問えて る つび] 込 社るの 、ること でだろ えてて けに 8 LU す づ ン題る 社 1) 会に にい ブ 15 ての 理か 会 て行 よっ にはこと う 由 うい か ル 動 するた す 7 る

2

Y

8

15

濱秦二中中永中寺田田竹竹関鈴杉菅新清清柴鹿鹿塩澤佐紺小古小小栗栗岸川金門片小小奥岡岡 瓶村村島井元中澤崎内根木浦谷保水水田內倉野田久谷日賀池池山原野上杉野桐原野野田田 間 琉 山 吟惺遥心晄和健咲杏優葵聖彩晴颯燎孝晶心梨優楓翔健 優 迪隆将智丈一湊翔美大音蘭奏正拓 羽晴 花介結 芽 翔乃久介汰樹哉晴麻里生太心光衣莉佳斗貴希瑠稀 咲晴和 心智真 菜 莉 穂

家自「努今制地食日本目家饂生三目楽「助差将キイ将気動地校学体願環お地剣 族分こカ、限球品本当標族飩や年標し日け別来ツジ来に物球則校育い境母球道 ご誰ど 地部ぼ忘 限球品本当標族能や出場し日け別来ツジ来に物球則校育い境母球道 くれめもん 球 活 族分 とらんがな 達ん わさ温口にのを す間とい本てににいメになぎ温と生座 温で 問さ温部 暖大野れじ楽社 のな たれ暖ス必平実 いの夢日国ほつ繋練ダつ つ ゃ暖は活り 題ん暖で へれている。 ではく暮られている。 でもなくます。 でもなくなる。 社部と々憲 しいが習メいて〈化 〈てるを てい待に あ 将大 L な化に要和現 1212 の化学 は会にするなむ 青春 法 来人 をベ l) たいをつなとし つつ 第って 春あがにに ち世考いこはた 道乗 るにつ 解た () () 九 b いじ 休て とう りこえ る つな が界えてと 私 職つい 77 決 す 条 ため て考え みあ ~ () b) る 業いて す 必 世 考えたこと + てた l) 要 7 る がっか 1= 15 私 た 7 か な () 中 達 つ とう ŧ 8 を ができること 1) 15 0 目 7 li 考 指

高高高高南南東 東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 西西西中谷谷 3 3 2 中中中1中中年 1 1 1 年 3 3 年年年 年年

ż る

Ĺ

7

生秋秋川小影渡味知古菱沼遠杉柴小後久北神川春小小薄岩渡横八八森森百目村宮三松本古廣原 田山山口林山邊<mark>村</mark>田川田野山山田島上保總田端日川川井﨑部田木木下川瀬黒中本上本間川瀬田 澤澤 田

こころ べ乃香 咲心綾惟妃さ 花乃 那央く 未紗幸美ひ葵優優獅美 蓮煌ほ優芽い舞美真茜 真樹友琥莉愛琉花陽暖愛皐 稀ま伽生ず桜瑛輝 桜帆太咲ま乙希<mark>芽</mark>月海 優 美大乃里衣二緒梨之音 空斗基 羽翔介 朗 V) ら芽 菜朗 n 2 介

命私地普海動ポ私学趣必学環幸な四言ど当自将部空大命僕チ体中未挑認私時現人工時新 がの球通洋物イの校味要校境せぜつ霊うた分来活間切のの|育学来戦めの間在種ア間た あ趣をっゴの捨趣生のとに問に勉の 味守てミいて味活良さ力題恵強バ ることに つ前の向つ時生 で思うこ されメにまを る何問のは 1) に挑けい間 ラ ただ題ちな あ戦てて る つれしア を めろの ぜ 力 いてな る状考思 設ていい ろえてい なく 変 にう解 と 生 置 ? 決 わ は ると 活 す なら V) を () るこ るこ は 1+ 大 な な な 切 2 15 1, 1, 11 15 0 \mathcal{O} か つ か か

1) 7

童常 ぶりへににとに重まム館校のす合将がの差コのに 労 生さわりにのたるえ来な社別ン大始きをり一つクめこるのく会とが切まる感のクいうにと世夢な いなさっ 働学 に校 0 人のてブでの界 じ じいにた い夏 っ 大私活き大へ切が動る切 7 た め体つ中 て休 世 に育い学 4 さ考にこさ 界 つ館て校 えつと () 生 たこて 7 活

と

階階階階階階階階階階階階階階階階階階階階階階階階階階階階階階階階階 階階 西 西 1 1 年年

三松原乗新中戸珍篠佐坂小小鹿沖横山松本渕福半林畑乗野中鈴筋里斉小小小小久梶大大 宇池 田野田松田嶋田田原久田湊林嶋本山谷下多向島田 原松上村木野見藤林林林林野原平河 勇 原 桃心聖昊哲鈴は百愛 千み司唯悠玲悠海翔応優圭太壮怜敦杏絢雅優百杏愛朝蒼莉颯遥 桃 煌 真奈仁花 海陽 花海渚 士音な音美未明う 明斗成朗太 史奈弓斗 央真稀 花輝 花 萌 來 南

ぼ多祭部夏野誰地い暑地平私僕家理個私自人右本私戦好好私自生今日 すり活の球に球じさ球等のの族想性た分種利当が争 のをちと差きのなはな 警大に向別社笑りなこ ぎのの部部な温めとがや夢将 趣る明取活でん暖に工沸公 来 で きを会顔たぜと物から命 7 味宿りり動 と化つア騰平 0 察切 言をいコ?か きるこ 合超に 問 や題と組 夢 い起 のらす 活 好はゴみ < わ考 てン っえつ 大 好上わた 題 ŧ 動 ! 入人 そうななれた かがけ けい からこと き良く れえ 7 たい 考 0 えて よる な 世て 界平え う 事 な が が る 1, る 平 和 0 こと か 和

「1好僕私4結少無変 年も人 きがの年果年知わ うのな大中ぶが少はら 一個こ切学り全女罪な の一個 部度性 に校のて を し生祭 非 夢 好て活り 行 きいを き通 0 7 たし 11

いて

と

7

中中中中中中中中中中中中中中中尾尾尾尾階階階階階階階階階 階階階階階階階階 西西西西西西西西西西 年年年年年年年年年年年年年年年 3 2 2 1 1 中中中中中中中中中中 中中中中中中中中中中 3 年年年年年 年 年年年年年年年年年年 年年年年年年年年

千田仙関清櫻斉小熊清菅甲奥大遠雨阿井諏金深近山前新中富峠坂国教柿忍荻荻大大大大市天秋 葉中波口水田藤林井田野斐寺河藤堤出上訪子江藤田野田島田 井重池 沼田原生堀場澤河川本山 原 Щ 空 原 陽佳拓瑠茉健凪煌樹颯凛勇史 蒼瑠 心由み和ほ彩栞結大向良優志陽 葉瑠里晴颯羽ゆ 愛璃晴 生那也菜依人砂大里真太翔 佳也那日温奈あ奏の奈汰季芽日 奏保斗月菜蘭 介桜め廣夢空 子 郎 か 我 翔 和 葵

環中こ金将友子先今「校卓無人夏ス個こ人ご夏陸思ミあ食努睡思サ命将夏先将平自保私税将将 境学れの来達供輩年花則球意と休マ性れ間み季上いス な卓力眠いッの来休輩来和分育の金来来 と生か国ののへ・の火に部味人みホをか関と大部や たとのに出力重のみとののの士夢 00 の私力つ | み夢中い夢た考には ボのらと夢大の後吹禁つをながのの大ら係環会 3 な女 ラ私の呼 切縛輩奏止い通戦つ宿時切を 気 選 のう めえ () さりの楽し ンに事ば てし 争な題間に 7 にを 持 0 手 部大 テ出 きる ち 活き で大たサ 立コの 7 が 0 な \sim き切いカカ 場ン立 にな ィ来 学 l) 行 0 1) ク札 アる つ存 で 6 や 私 動 道 に事 だこ す こと] た い在 で] ち つ 7 を ル () 広 () 社 7 85 会 ること

2 2 2 2 2 2

 \sim

菜

う

来

小小栗久工木木木川上兼金小小オ大大大江内内岩石石池新安阿赤會若横望村水広長萩並中冨鶴 島島原保藤本須﨑越村田田野野了野塚谷利田田澤塚坂田井部部津田林溝月上嶋永谷原木島永渕 リ田 田 寺 山 彩優 大藍愛 市 珑響侑颯翔琴遥美陽花怜咲愛爽穂蓮廉 大志透結美啓埜拓 沙爱時亮健 テ 樹斗 和夏菜萌和希也咲咲太乃己智悟 仁菜 美太 羽花桜斗 音 桜良乃斗 希雪実哉太 1 華 実 南 月朗 子 佳 実 アラ 毬

¬良自日大一こ未好友戦体人い差夏エ十人究い日最私二野友勉<mark>水</mark>みマー戦叶ス私憧適あ地平 んイ人争えマのれ度な域和 強大い由々事人の来き達争育間じ別休コ秒生極じ本近の年球達強 人関なのなひ暑のを関 館もめ・みバ台三のめの話決生ののと なで クのとたホ大 なたのに 係世不日とさ自貫係 に動の偏 っッで大選と経題断に素重部 口行はいの好 加は人必 りど分き 工物な見てグ走課択い済の な晴要活 る 界満常 止プ動悪も存 き 減捨々要 送のうの通 アもい めラで魔の在な 意 何はる題肢うにし っら性 てのな でエの 味 る理防たす ŧ 7 L 冊 るス未と てたも コ住世 つG 親 ż チ来の 為解ぐめ ンみ界 あコは のいB 友 いめの にが?に をや るな俺 7 Τ ッが契 なに 必 す んのだ Q ク変約 () だかろ を 要 ? わ 1) 無 未 る

中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中 中中中中中中中中中中中 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 年年年年年年年年年年年 年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年 年

くす

ĺΞ は

丸松細細府藤藤福平半春原林根二西西那名中中出都田竹高高高高<mark>宋</mark>情須鈴清佐佐齊斉斉今小小 岸谷川浦須嘉林塚口濃中 山尾田田瀬岡井原井田菜 ノ山橋橋橋 野藤木水藤藤藤木野林長 心媛 眞 内 Ш 谷 あ聖季春想愛雪香愛直愛洋昂 奏絢光翠颯 隼悠雄太<mark>雅</mark>凌悠陽咲姫奏咲鼓由希櫂 拓ナ実陽 真イ鈴菜快か菜実佑那実 梨輝美生惺涉翔大咲 太沙哉斗仁陽 馬士愛矩愛太楽太奈星 V) 花 紀 羽 椰

殺薬今僕温私い夢平結私私け初良ポ自ケ共祖私努校「「部本水ル夢 私刀清勉勉応印僕そ部底私 収処分をなくすた、難事故はなぜおきるのか に和びた達 強強援象のれ活 をが暖の たマ がめいイ身ン感 父のカ則勉守活当の ッ向 生部化将 はな付ち をて未捨の力さと将のの強破 ちホ すとの操挑っ動 の危 0 き活と来るに動の 不世きの知通の来て成はれの来大形な離安界に靴らし部をを長悪に夏 切 ん る家力作戦てを はと 仕 友機 クか + 本通 事 達 っ 上族 か き合 2 つ物夢 がをよの た目っ色 な 活信減とくく休 Z 7 争 当し 7 での 変 かの 1 、学ん を 大繋 考 じら自ないみ 「守 15 7 ブをやり続けて感じたこと にくさん É す覚い趣 知 切が ż 学 7 7 傷 7 キャニオニング 悪う だこと Ĺ: í Ġ る 悪 め 12 1) 6 跡 味 が こと し 学 15 な 1. lt び た あ () 方 る () 経験 ? と からの対 川川<mark>川</mark>川川川川川川川<mark>川</mark>川川川川 門 霞 霞 <mark>霞</mark> 霞霞霞霞霞霞霞砂砂砂砂砂砂砂砂砂砂砂砂砂砂砂 越越越越ケケ ケケケケ ケ 越越<mark>越</mark>越越越越越越<mark>越</mark>越 ケケケ中中中中中中中中中中中中中中 西西西西西西西西 西西 西西西西関関 関関関関関 関関関22222222222222 中中中中中中中 中 中中中西東 東東東東東 東東中年年年年年年年年年年年年年年年 東 3 3 3 2 2 2 2 年 年 1111中中中 中中中中中 中中2 3 3 3 3 3 3 2 <mark>2</mark> 年年年年 <mark>年</mark>年年年年年年 年年年年133 11年 年 年年 年年 山柳<mark>矢</mark>宮毒高井山福川<mark>奥</mark>眞佐小磯青橋山<mark>酒</mark>越小遠高佐 佐小岡渡和與吉山山矢八森本望村宮三水 <mark>島</mark>澤嶌山上口島畑<mark>富</mark> 藤林部沼本下井 部笠藤橋藤 藤林田辺賀那田下崎口木田杉月橋川田谷 田 原 井覇 原 彩優更怜紫堇慧颯柚咲 真晃礼教琳咲 涼 陽宗 早 悠美奏 陽太珠愛 明生海奏颯 寬 陽寿 莉琉暖彦一花夏 <mark>紗</mark>太奈 大太葉空 希瑠弦世 季 太葵 希 大 月鈴 実日真希来大良る

のにいッ同P

て化人は

忘に間認

8

b

n

な

()

0

か

未なうト性

来っ文と婚

れつ

たい

もて

0

学環学私戦普日仲L同将ニ祖人A携命誹容目日大本口なHさ私生平平自新犯 校境校の争通本間Gじ来ユ父生|帯を謗姿標本人とボぜSすのき和和分制罪 のへBはの | 母のと電守中と 生問生家と 活題活族平 将 Tず夢スの友高話る傷向 よで 来 にの を話情齢依 を り学 見を つ命 者存 エん 7 聞 いの に症 ネルジ l) 思い て価 つに ょ っ 7 知值 いつ た ギ っ 考 てい () こと ŧ 7 ż 7 た 問 0 II 題 15 L Y で 1)

郎穂

は

校 に来ら意は認がな生 及 る平び に和一 つな般 てのの 中部

<

L

れ世

咲香

暉

が未づのとを度を

0

正

体

成

長

L

ょ

う

さ味何め始

かる ま

奈

大機私青挨 人械の春拶 に化スのに なのマ定つ る影イ義い たにル 7 めはチ 15 ャ 必 V 要 なこ ジ

磨み

伴葉髙工河 場石橋藤村

鯨鯨鯨鯨鯨

井井井井井 中中中中中

3 2 2 1 1

年年年年年

桜晃彩紗陽 月美夢奈莉

明明明明时立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立立 高高高高피게게게게게게게게게게게게게게게게게게게게게게게게게게게게 等等等等越越越越越越越越越越越越越越越越越越越越越越越越越越越 学学学学高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高高 校校校校等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等 等等等等等等等 1 1 1 1 1 学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学 年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年

にき

つ合

いう

7

大岩稲飯安吉町本堀古日濱蓮仲中富照田高鈴佐阪坂五木菊大石八丸鈴佐佐黒 津田村塚達田田多口澤高松見村里井井中野木藤本本島場池竹川木山木山藤屋

結龍美佳兼歩彩美未さつ瑠恵梨りな美和優心美桃愛舞楓真杏藍琉龍心実杏智 音河桜成人夢乃佳優やぐ菜梨乃こ 唯奈衣貴之菜来奈菜 つ桜奏菜温羽花莉桜 子 か美 晟助

環最「私決こ高犬隣リ夏自地環平ア辻部普考タ寮叶前校守私変やいバ今成平友友不私時分し世 境近千のめれ校とのサ休分球境等二南活段えイ生え進則るの化り ンを人和達達登た間かG界 ド生年の関は校ちのれBの のの羽苦つか一人コイみた沸に メ区とのてミ活た とべ主 たか た悩鶴手けら年間ロク の勉矛いンにい はき張 齢裏係消のはな道T ち騰つ 0 マ 11 ンる └ななす生とナル に化い 地強盾るグつ夢 必も 正 31 耗子スぜ めみ Q 争 域のにこ 品と へ音いるに言 だ き 15 要の Y 解 7? 2 0 必 7 1, 15 卞 もホ す 心べな葉 多 要 活両つと て 0 7 っ 対 日 、きこと かとどう な 様 動立い あ 7 げ す本 きことは 15 る 性 ŧ 7 る () 1) () 考 0 か 0 奴 生 Ž 1) きる 7 方 何

<mark>秀</mark>秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀 明明明明明明明明明明明明明明 秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀 等等等 等等 等等 等等等 等 等 等等 等等 等等 学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学 学学学学学学学学学学 校校校校校校校校校校校校校校 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

村水松星古樋半原服仁西中中豊富鄭角角千田谷田田高鈴神代白清佐佐齋後君北川金加加小岡大 越野本野川口谷島部平山澤川島澤 田田葉淵合中中橋木保田井水 藤 々藤藤島御崎澤藤藤川田濵 仁 木 門 爱大隆詩華清光沙玲玲凜友真英心修琥威愛善璃羚真海陽紀美智兼 葉 隆彬悠 和真南爱由偉拓 月雅太仁

治治美 南哉由帆 里紀成織奈亮悠英奈里太貴奈人暖 菜郎 仁 佳

き通っ

っの

なか

のら

ゖ

3

查員 查 長員

佐小工市原渡吉佐 久池藤川 邊田藤 間 香 さ康玲織し香麻 佳つ平名 0 友 枝き ,;;

か

川鯨霞川高芳川月 越井ケ越階野越越 市中関第小小小小 青学西一学学学学 少校中中校校校校 年) 学学)

を 校校 育 7 る

会

市 民 議 副 会 伊 長

生普一日日想感地川 言日家ジ私信日高ス不バ地習モ家海法周将生 本本と <mark>語</mark>本族ェの頼本校マ安レ球慣チ族洋医り来死死々 いがカコ温市 ンいとの生ホとエの化べがプ学 **」**の のの をの に悩 て行う抱を ン暖の 教 ダ と尊法の 決成平が」増ラと見夢 意長和でシえス命る 育 重律成 つみ るかロ 記のきョたチの を は長 n 制 Y 11 録たなン僕ッ関 通 は お 7 度 か めいののク係 に自上家ご 困よル 15 何 か b L 問うの 0 つ か

恵

美帆也成

か

功真央花深貴琉幹

マザマガ Ì - 貧せ | F. を □題 大 発 () 分げ 4 () 切 展 7 へ方 問 民 て 7 15 題 作 つ l) () Ĺ

秀秀秀秀秀秀秀秀秀 <mark>秀</mark>秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀 明明明明明明明明 等 等 等等 等 等 等 学学学学学学学学学学学学学学学学学 学学学学学学学学 校校校校校校校校校 校校校校校校校校校校校校校校校校校校校校校校 2 2 2 2 2 2 2 2 2 年年年年年年年年 年 年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年

渡渡横南丸原萩中徳趙関菅神佐小桐木北川亀小大江牛伊網林山矢茂村 口又野藤磯山村村島山幡海口尾藤野 山野原村田 田作木松 芽大晃稀彩俊朱衣龍 望慎晃凛沙陽倖悠秀怜光龍楽健華月赫心恭陽直 生希翔 希泰音余紀 々矢希和弥成成里仁可輝聖 嗣莉香 美香向城 子 子 子 朗 那

7

令和5年度 川越市少年の主張作文 入選作品集

発 行 日: 令和5年11月

編集・発行: 川越市青少年を育てる市民会議

(川越市役所 こども育成課内)

住 所: 川越市元町1丁目3番地1 電 話: 049-224-5724 F A X: 049-224-6705

